

三井化学：生成AIで加速するR&D変革の全貌

長期経営計画「VISION 2030」に基づき、DXを基盤にR&Dのバリューチェーン全体へ生成AIを適用。作業時間短縮と創造的活動への注力を実現。

R&Dプロセスを劇変させる4つのAI活用

変革を支える強固な戦略と人材基盤



文献調査時間を
80%以上削減

独自開発のAIエージェントが化学構造式を画像認識し、物性や用途を自動抽出。

特許分析・新規用途探索の
業務を**80%効率化**

生成AI特許チャットにより、膨大な技術文書からの課題抽出や市場調査を高速化。



新材料の実験試行回数を
1/4に削減

マテリアルズ・インフォマティクス(MI)により、少量のデータから高性能な材料候補を提案。



2030年度までにDX関連へ
1,000億円を投資

経営の中枝にDXを掘え、ポートフォリオ変革を加速させるための大規模投資を断行。

全社員1万人を対象とした
4段階のDX教育

役員を含む全社員の基礎教育から、165名の専門人材育成までを体系化。



「トップラインを上げ、
マーケットシェアを
拡大するDX」

CDO三姫雅夫氏が掲げる、攻めのDXによる事業競争力の強化。

生成AI(GPT)とIBM Watson連携の成果

辞書作成数	約 10 倍に増加
新規用途の抽出効率	3 倍に向上
新規用途の発見数	約 2 倍に増加